

# 地域社会とともに

## 災害時の救援活動への協力

2014年8月、広島県広島市で土砂災害によって甚大な被害が発生しました。

西中国事業所でも、事務所内の床上浸水や汚泥の流入などの被害を受けながら、近隣の通路の確保を積極的に行うなど、地域住民への支援や行政などによる救援活動への協力といった、懸命な災害復旧にあたりました。



汚泥除去作業の様子

## 地元住民とのコミュニケーション

名古屋事業所では7月に中新町内会の納涼祭に参加しました。1ヶ月前から町内会の方々と準備を行い、輪投げやヨーヨー吊りの出店・工事状況のジオラマ・建設機械のパネル展示を行いました。

8月には、現場と隣接するキララ幼稚園で行われた夏祭りでも、打上げ花火の寄付と仕掛け花火（ナイアガラの滝）の設営を行いました。幼稚園の皆さんにも大変喜んでいただき、工事への理解を深めていただく良い機会となりました。



出店には長蛇の列

## まちの環境美化を推進

道央事業所は、2014年度も「アダプト・プログラム」による清掃活動を行いました。「アダプト・プログラム」とは、道路や公園などの公共空間に対して、市民や地元企業が行政と協同で進める、美化活動のことです。わが子のように世話をすることから、「アダプト=養子にする」といわれています。

事業所は、2011年2月、札幌市西区とアダプトプログラムの締結をし、毎年5月～11月の間、月一仕事所周辺の道路清掃活動を行っています。



小さなゴミも見逃さない

## 道路清掃の実施

中四国支社では路上のゴミ拾いや除草活動を行い、住民の方々が快適に生活できるような環境づくりに努めています。住民の方々とコミュニケーションをとることで、相互理解を深め、地域社会への発展に貢献できるものと考えております。これからもこの清掃活動を積極的に行っていきます。



地域の美化に貢献

## プラント周辺部の快適な環境づくり

仙台東アスコンでは、「仙台まち美化サポーター」として、清掃活動を行っています。

毎週火曜日の約30分間、協力会社社員を含む約25名がプラント周辺部の車道および歩道の清掃や、除草活動を継続的に行っています。また、冬期は降雪状況に応じ随時除雪活動を行い、地域貢献に努めています。



毎週火曜日に行っています

## 旧モーガン邸の清掃活動に参加

一般社団法人日本建設業連合会主催の社会貢献活動の一環として、神奈川県藤沢市の「旧モーガン邸」で7回目となる庭園清掃のボランティア活動が行われました。草刈りや枝の伐採を行い、参加者が協力して広い庭園の清掃にあたりました。

「旧モーガン邸」は昭和6年に建てられた建築家J.H.モーガンの旧邸で、モーガン亡き後、二度の火災に遭い、かなりの損傷を受けました。現在はボランティア活動など、修復再生に向けた活動を行っています。



7回連続の参加者も



## 現場見学で子供たちに道路工事の大切さを

2014年9月、曾於市立岩川小学校の児童88名が、「東九州道（鹿屋～曾於）岩川地区（第2工区）舗装工事」の現場を訪れました。

児童達は、普段歩くことができない高速道路を歩いたり、大きなスリップフォームマシンに乗車したりと、道路工事の現場に興味津々の様子でした。道路工事への理解を深めてもらう良い機会になりました。



現場見学の様子

## 将来を担う子供たちへ

黒部市内で入善黒部バイパスの工事を行った北陸支社は、魚津市教育委員会に地域貢献事業として、書籍「天空にける橋」を贈呈しました。同書は立山トンネルの開発秘話を描いた本で、黒部市内の全小学校に置かれる予定です。

将来を担う子供たちが、少しでも建設業を理解し、興味を持ってもらえたらと思います。



目録贈呈

## 清掃美化活動で自然を守る

城南島リサイクルセンターは、敷地がある城南島において、「城南島連合会」という地域団体に所属しており、月2回の島内清掃、年一度のビーチクリーンアップに参加しています。

2014年10月に城南島海浜公園つばさ浜において、『ビーチクリーンアップin城南島2014』が開催され、打ち上げられたゴミなどの収集を行い、きれいな砂浜を残す活動に取り組みました。



広いビーチを手分けして

## 継続的な道路の美化や清掃活動

横浜事業所は、地域のボランティア団体と行政が協力し、身近な道路の清掃や美化活動を行う「ハマロード・サポーター」に参加しています。2011年に横浜市旭区で14番目の認定団体として加わってから4年目を迎え、先駆的な活動が認められ、横浜市長より感謝状が授与されました。

横浜事業所では毎月1回、社員が事務所付近の国道16号線の一部約240mの清掃にあたっています。



市長より感謝状授与

## 「ヤマネの巣箱づくりボランティアに参加」

道路建設に伴う森の分断により、ヤマネなどの樹上小動物の減少が危惧されています。親会社である大成建設（株）では、10年以上に亘り、（公財）キープ協会やまねミュージアムと協働で「ヤマネの巣箱づくりボランティア」を行っています。

本年度は、大成ロテックも当ボランティア活動（2015年2月開催）に社員とその家族14名が参加し、総勢70名でヤマネの巣箱306個を製作し、「やまねミュージアム」に寄贈しました。巣箱は全国に送付されヤマネの保護活動に使用されています。

本活動に参加し、生物多様性の保全に関する地道な取り組みを実感し、重要性を再認識しました。



巣箱づくりに熱中



参加者の集合写真